

湯原小学校『そば・米収穫祭』

11月29日、湯原コミュニティセンターを会場に湯原小学校児童が主催するそば・米収穫祭が開催されました。

収穫祭では、家族や地域住民の皆さん、関保育所の子どもたちと一緒に手打ちそばやおいなりさんを作りました。料理に使ったそばの粉やお米は湯小児童が自ら育て刈り取ったもので、美味しくできあがるようにみんなで力を合わせて一生懸命料理を作っていました。



▲そば打ちの指導をしてくれた山田益広さん



保育所の子どもたちからは、「いつも楽しい思い出をありがとうございます!!」と書かれた手作りの記念品がプレゼントされました。



▲こしのある美味しいそばが茹で上がりました。

関保育所もちつき大会

12月13日、関保育所でもちつき大会が行われました。会場には地域の方々や子どもたちの家族がゲストとして招かれ、子どもたちは歌とダンスを披露したあと、手作りのプレゼントを手渡し、日頃の「ありがとう」の気持ちを伝えました。また、もちつき大会ではゲストの皆さんが交代しながら子どもたちと一緒に美味しいおもちをつきあげました。



安全運転者講習会が開催されました

12月17日、活性化センターを会場に白石地区交通安全協会七ヶ宿支部主催の安全運転者講習会が開催されました。講習会には白石警察署交通課から上野課長を講師としてお迎えし、漫然運転や飲酒運転の危険性について講話をいただきました。

また、長年の無事故無違反を達成した優良運転者に対し、白石地区交通安全協会の齋藤会長から優良運転者表彰状が授与されました。



齋藤会長から表彰を受ける今野三喜男さん(上)、鏡好弘さん(右)、渡部政宣さん(左)



■漫然運転の危険性

交通事故の理由として最も多いのは漫然運転と言われています。漫然運転とは、緊張感が欠如しぼんやりと運転をすることをさし、特に、通い慣れた道や目的地在が20〜30分程度の近距離運転で事故を起こす人が多いそうです。車を運転するときは、自分は車に乗っているという意識と適度な緊張感を持って運転しましょう。

■車のライトは早めの点灯を!

車のヘッドライトは、周囲を照らす役割を持つとともに自分の居場所を相手に知らせる役割もあります。夕暮れ時や悪天候時など、自分からは周囲が見えていても、周囲からは自分が見えにくい状況にあるかもしれません。視界の善し悪しにかかわらず、ライトは早めの点灯を心掛けましょう。

■酔っていないと思っても...

自分はお酒に強いから少量

なら酔わない。と思っている方もいるのではないのでしょうか。

「お酒に強い」人は、飲酒後に頭痛がしたり気分が悪くなったりすることが少ないため「自分がどの程度酔っているか判断しにくいだけ」で、反応時間の遅延など、アルコールによる身体への影響はその人の酒の強さにかかわらず、同程度現れることが実証されています。

また、飲酒運転をしないために注意すべきなのは、お酒の量よりもお酒を飲んだからの時間にあります。例えば日本酒は、2合飲んだだけでも血中アルコール濃度が平常に戻るまで約7時間かかり、お酒の量が増えれば平常値に戻るまでの時間も当然増えることとなります。一晩寝たからもう酔いは覚めていると思っても、実際は酔いが覚めていないかもしれませんのでご注意ください。